

ラジオNIKKEI ×プロネクサス共催

企業IR&個人投資家応援イベントin東京



代表取締役社長 若尾 直

2025年8月2日

株式会社 テノックス

証券コード：1905（東証スタンダード）





ひと言で言うと

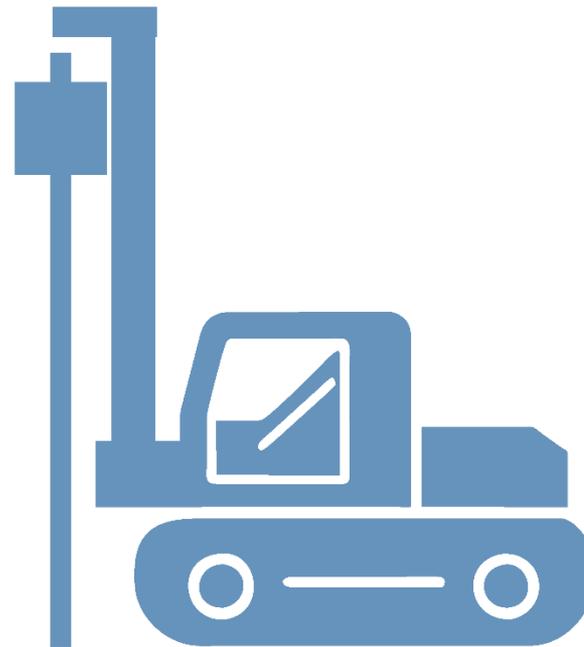
工法開発型 基礎工事会社



1. 基礎工事って何？
2. 「テノックス」って、どんな会社なの？
3. テノックスの「強み」って何？
4. テノックスの「これから」は？



1. 基礎工事って何？

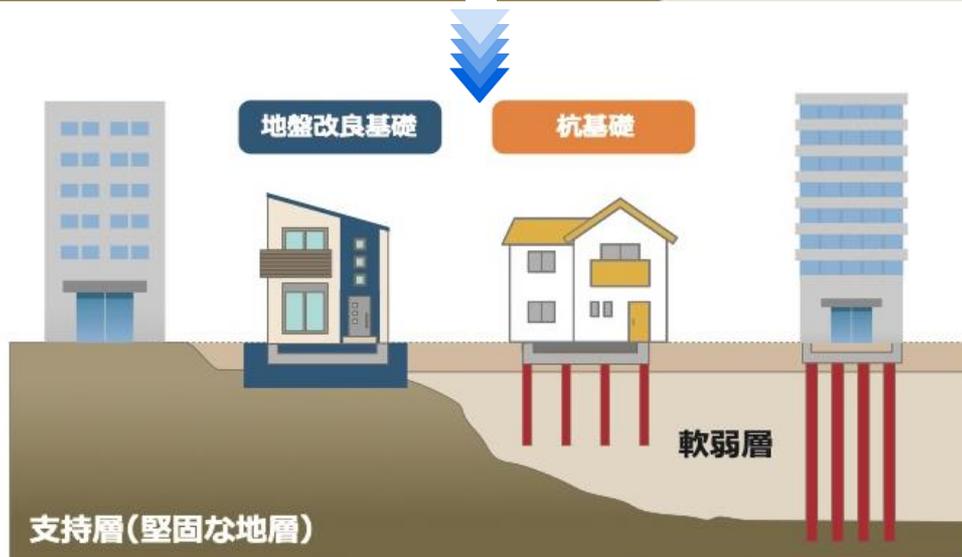


建築構造物や土木構造物の荷重を地盤に伝え、安全に支える構造を築造すること

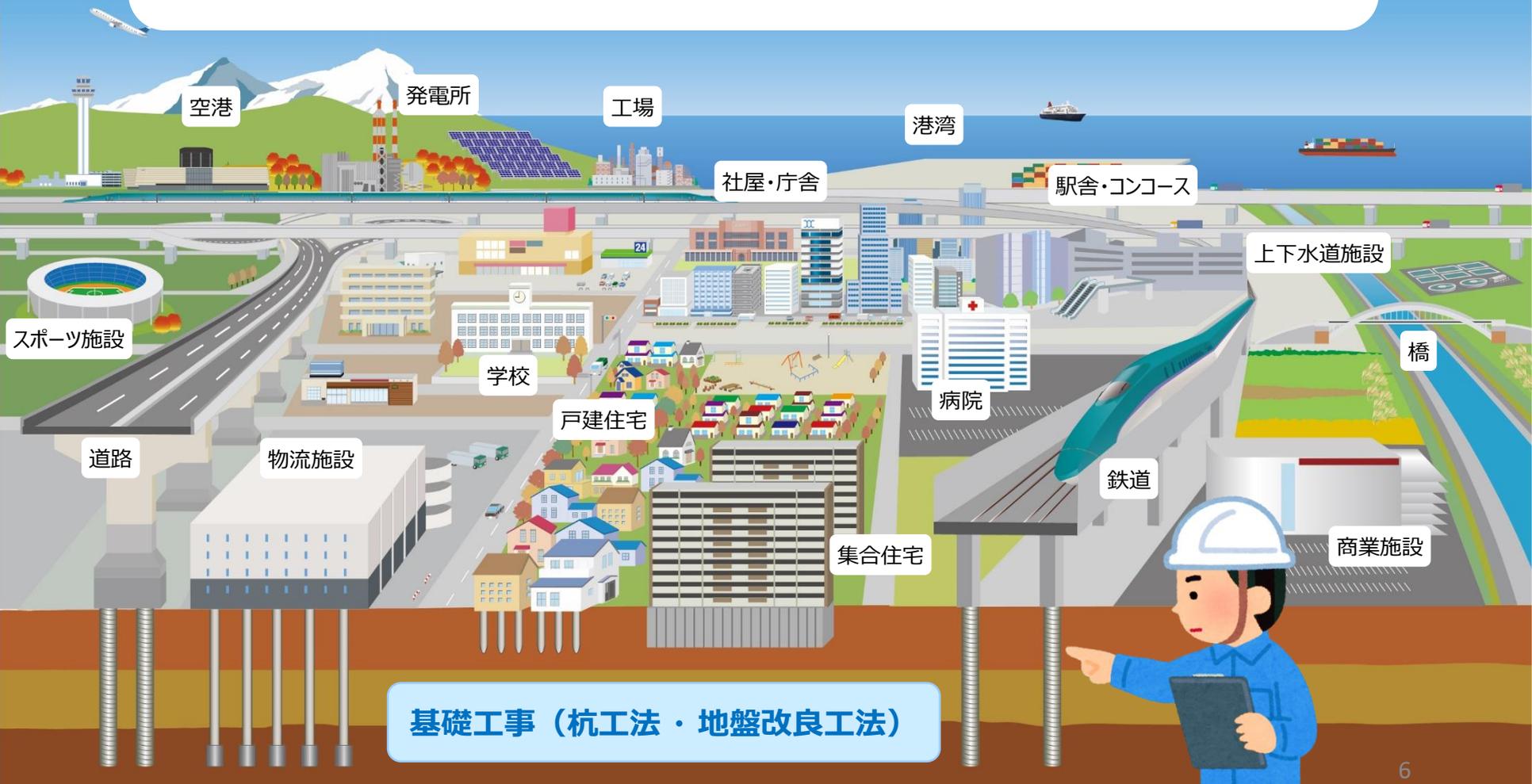


日本は地震が多いうえ、人口の大半が河川が運んだ軟弱な土砂が堆積した平野に集中しています。

このような地盤に建物などを建てる際は、軟らかい地盤の下方にある硬い地盤（支持層）で支えねばならず、地盤と建物の条件に適した土台作り = 基礎工事が必要となります。



私たちテノックスは、住宅、商業施設、病院、倉庫、工場、鉄道、道路など、身の回りにある様々な建築・土木構造物を利用するすべての方々に、基礎工事を通して「安全」と「安心」をお届けしています。



基礎工事（杭工法・地盤改良工法）

- 工事特化型 …… 工事のみ行う
- 工法開発型 …… **工事の方法を開発** + 独自工法の工事を行う



独自で開発した工法（知的財産権）を多く保有するため、
優位に展開することができる

**テノックスは、工法開発型 基礎工事会社
技術力のある企業として、業界で名前が知られています。**

最近では

- ・『CP-X工法（コンクリートパイル中掘り工法）』2025年1月公的認証取得
 - ・『テノキューブ工法（浅層地盤改良工法）』2025年2月技術審査証明取得
- など数多くの自社工法を開発し、現在保有特許件数は100件以上

万博会場へのアクセス道路をガンテツパイルにて施工



2023年6月～2023年7月施工



出典：大阪市報道発表資料「報道発表資料 舞洲東高架橋の供用開始について」
<https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryu/port/0000640597.html>

2022年12月～2023年6月施工



出典：博覧会協会・大阪市建設局・大阪港湾局
 「万博会場周辺の交通課題と対応案」



出典：上図・下中央写真
 大阪市建設局「夢洲工事だより」令和5年1月
<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/cmsfiles/contents/0000590/590564/yumeshimadayori01.pdf> を加工して作成

建設投資は引き続き堅調、データセンターは拡大

建設投資

2025年度見通し **74兆9,300億円**（前年度比+1.3%） ※1

内、政府分野投資： 24兆 500億円（前年度比+1.6%）

民間住宅投資： 17兆4,200億円（前年度比+2.7%）

民間非住宅建設投資：18兆3,600億円（前年度比+3.7%）

コンクリートパイル需要量

2025年度予測 **214万トン**（前年度比+6.5%） ※2

セメント需要量

2025年度見通し **3,200万トン**（前年度販売量比△1.7%） ※3

防衛予算

2025年度予算 **8兆7,005億円**（前年度比+9.4%） ※4

工場着工床面積

2025年度見通し **687万㎡**（前年度比+2.4%） ※1

データセンター市場規模

2029暦年予測 **5兆4,036億円**（2024年度比+34.5%） ※5



2026年～2028年が新設のピーク、2029年までは年平均6%程伸長

当社が得意とするセクター

不確実性

トランプ関税の建設投資への影響

- ※1. 建設経済研究所「建設経済モデルによる建設投資の見通し（2025年4月）」より
- ※2. 一般財団法人コンクリートパイル・ポール協会「令和6年度実績見込と令和7年度予測（2025/3/25）」より
- ※3. 一般財団法人セメント協会「2025年度セメント需要見通し（2025/2/27）」より
- ※4. 令和6年12月横山主計官「令和7年度防衛関係予算のポイント」より
- ※5. 調査会社富士キメラ総研「『データセンタービジネス市場調査総覧2025年版市場編』まとまる（2025/3/24）」より



2. 「テノックス」って、どんな会社なの？



本社外観（ヒューリック三田ビル）

テナックスの概要

1.「基礎工事」って何？

2.「テナックス」ってどんな会社なの？

3.テナックスの「強み」って何？

4.テナックスの「これから」は？

社名	株式会社テナックス (英訳名) TENOX CORPORATION
本社所在地	東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 若尾 直
事業内容	・ コンクリートパイル、鋼管パイルの販売 およびその杭打工事の請負 ・ 地盤改良工事の請負
従業員数	連結369名 (2025年3月31日現在)
拠点・グループ会社	国内拠点：11ヶ所 グループ会社：国内4社・海外1社
上場市場	東京証券取引所 スタンダード (証券コード：1905)



役員顔ぶれ
(2025年6月27日株主総会にて)

創業者 安田善次郎の想い



創業者 安田 善次郎

『**基礎工事は建物を支える大事な工事**なのに、工事は下請け任せで手抜きされても分からない。自分でやらなければならない、というのが私の考えだ。そして、町中でドカンドカンと大きな騒音と振動と油煙といった公害を振りまく。これからは公害を振りまくような工事は厳に慎まなければならない。**環境に配慮した低公害工法を開発する必要がある。**』

(1970年5月)

50年も前から環境経営を考えていた

長期ビジョン（目指すべき企業像）

基礎工事を通し、社会に「安全」「安心」を提供し、全てのステークホルダーが豊かさを実感できる

100年企業を目指したサステナビリティ経営の実現

長期ビジョン
(目指すべき企業像)

中期経営計画

「未来を拓く、新たな一歩」
環境とインフラに Innovation

長期ビジョンの達成に向けた **Phase3**

変化・多様化する社会課題に対し、5つの重要戦略で挑戦

中期経営計画
(2024 – 2026年度)

経営理念

人間尊重
技術志向
積極一貫

経営理念



3. テノックスの「強み」って何？



岐阜県某電子部品メーカー工場工事の様様

技術のテノックスです。

- ① 主な独自開発工法
- ② 新開発工法
- ③ 災害対策への貢献
- ④ コンサルティング

① 主な独自開発工法

1.「基礎工事」って何？

2.「テノックス」ってどんな会社なの？

3.テノックスの「強み」って何？

4.テノックスの「これから」は？

独自で開発した工法（知的財産権）を多く保有することで、優位に展開することができる

NEW CP-X工法（杭）



NEW テノキューブ工法（地盤改良）

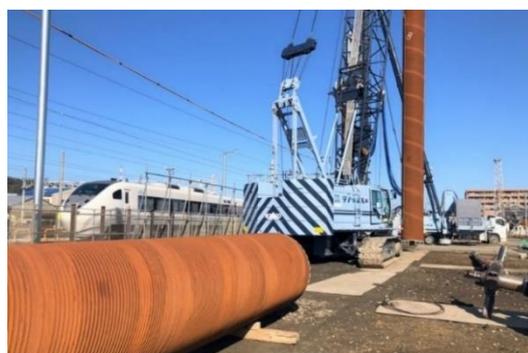


テノラム工法（地盤改良）



年間売上高80億円
（過去3ヶ年平均）

ガンテツパイル工法（杭）



年間売上高63億円
（過去3ヶ年平均）

TN-X工法（杭）



年間売上高1.6億円
（過去3ヶ年平均）

新開発工法の拡販により事業拡大へ

CP-X工法 (コンクリートパイル中掘り杭工法)

- ◎ 社会問題化している建設残土の発生を大幅に低減可能 (中掘り工法特有)
- 他社のコンクリートパイル中掘り工法と比較し、トップの支持力を誇る
- 荷重の重い物流倉庫、データセンターなどがターゲット



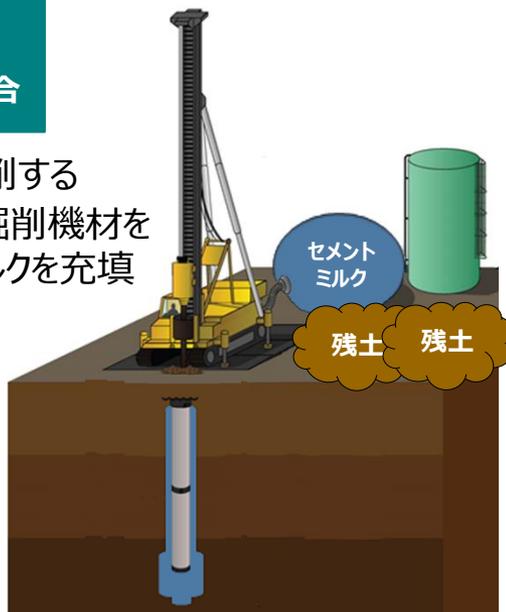
中掘り工法はなぜ残土が軽減できる？

プレボーリング (外掘り) 工法の場合

- ① 杭径より大きい径で掘削する
- ② 杭穴が崩れないように掘削機材を引き抜く際にセメントミルクを充填
- ③ 杭を建て込む

- ・掘削径 大きい
- ・セメントミルク 多い

⇒残土が多い

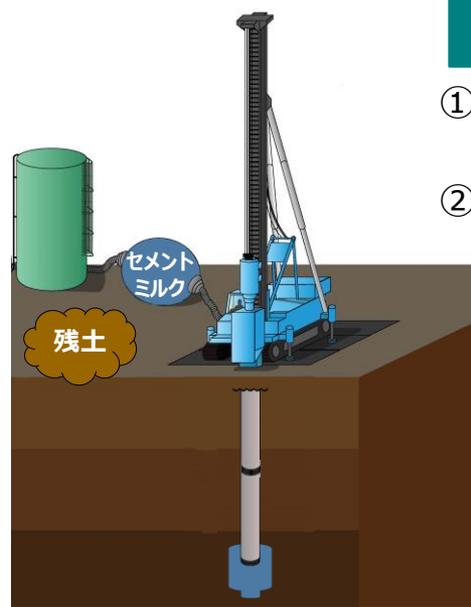


中掘り工法の場合

- ① 杭の内部を掘削し、同時に杭を圧入する
- ② 杭の先端にセメントミルクを入れ、掘削機材を引き抜く

- ・掘削径 小さい
- ・セメントミルク 少ない

⇒残土が少ない



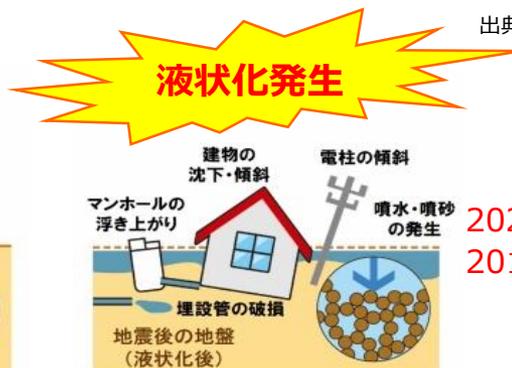
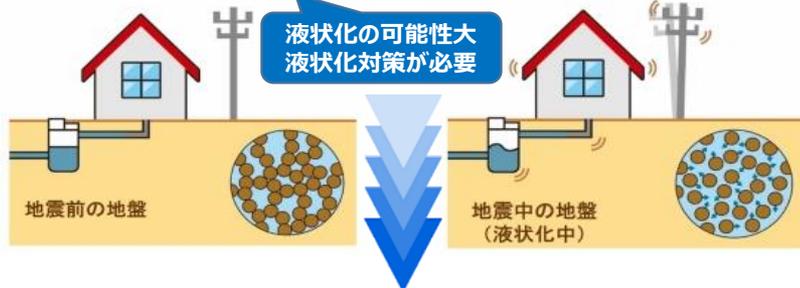
液状化に対する強靱なインフラ構築への貢献

より多くの人に使ってもらい、より広い地域の安全・安心を築きたい

そもそも液状化とは？

- ① 緩い砂地盤
- ② 地下水位がある（水位が高い）

③ 地震により地盤が揺れる

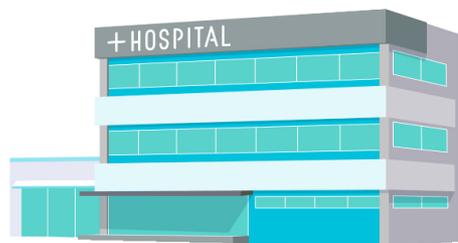


出典：「液状化現象について」（国土交通省）

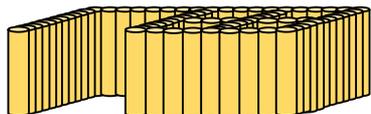
2024年能登半島地震 2,114か所
2011年東日本大震災 8,680か所
液状化現象を確認

格子状地盤改良による液状化対策（テノコラム工法）

試験/実験/解析/設計技術（株）複合技術研究所）によりハイブリッド型液状化対策が提案可能に



格子状地盤改良（テノコラム） →



さらに



- ✓ 数値解析技術を用いることで、**合理的な設計でコストダウンを実現**
- ✓ 防災拠点など重要構造物をはじめ様々な構造物に対応

④コンサルティング

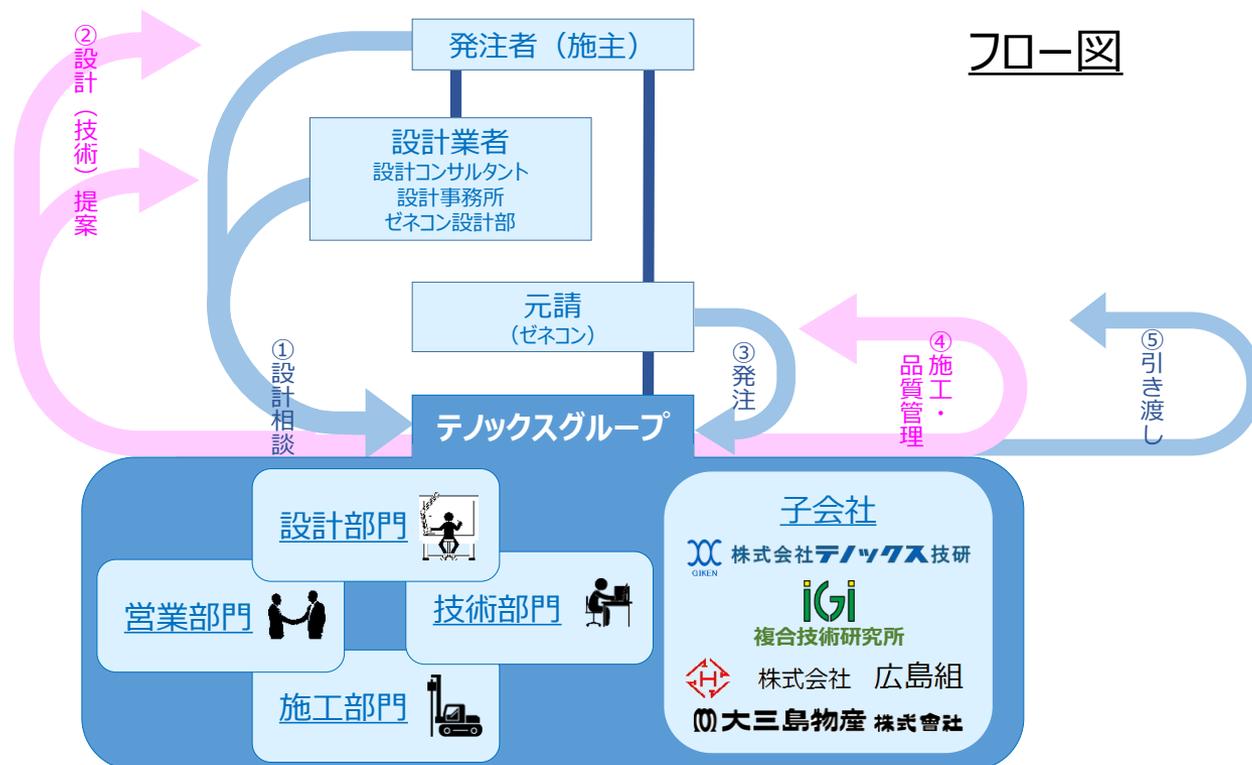
1.「基礎工事」って何？

2.「テノックス」ってどんな会社なの？

3.テノックスの「強み」って何？

4.テノックスの「これから」は？

- ✓ **設計部門を持ち、他社より早い段階で情報入手し受注活動をスタートできる**
(発注者や設計業者からの当社技術に対する信頼獲得により、直接相談を誘引)
- ✓ 設計業者へ複数の技術を提案することにより、ワンストップサービスが可能
- ✓ **設計から施工まで一貫した体制で高い品質を実現**
(2025年6月27日付組織体制の変更により営業部門と施工部門を事業毎に一体化)





4. テノックスの「これから」は？



電動小型杭打機「DHJ-15E」

著しい環境変化、事業課題の多様化、成長ビジョンへ 中期経営計画の「5つの重要戦略」で挑戦



中期経営計画URL

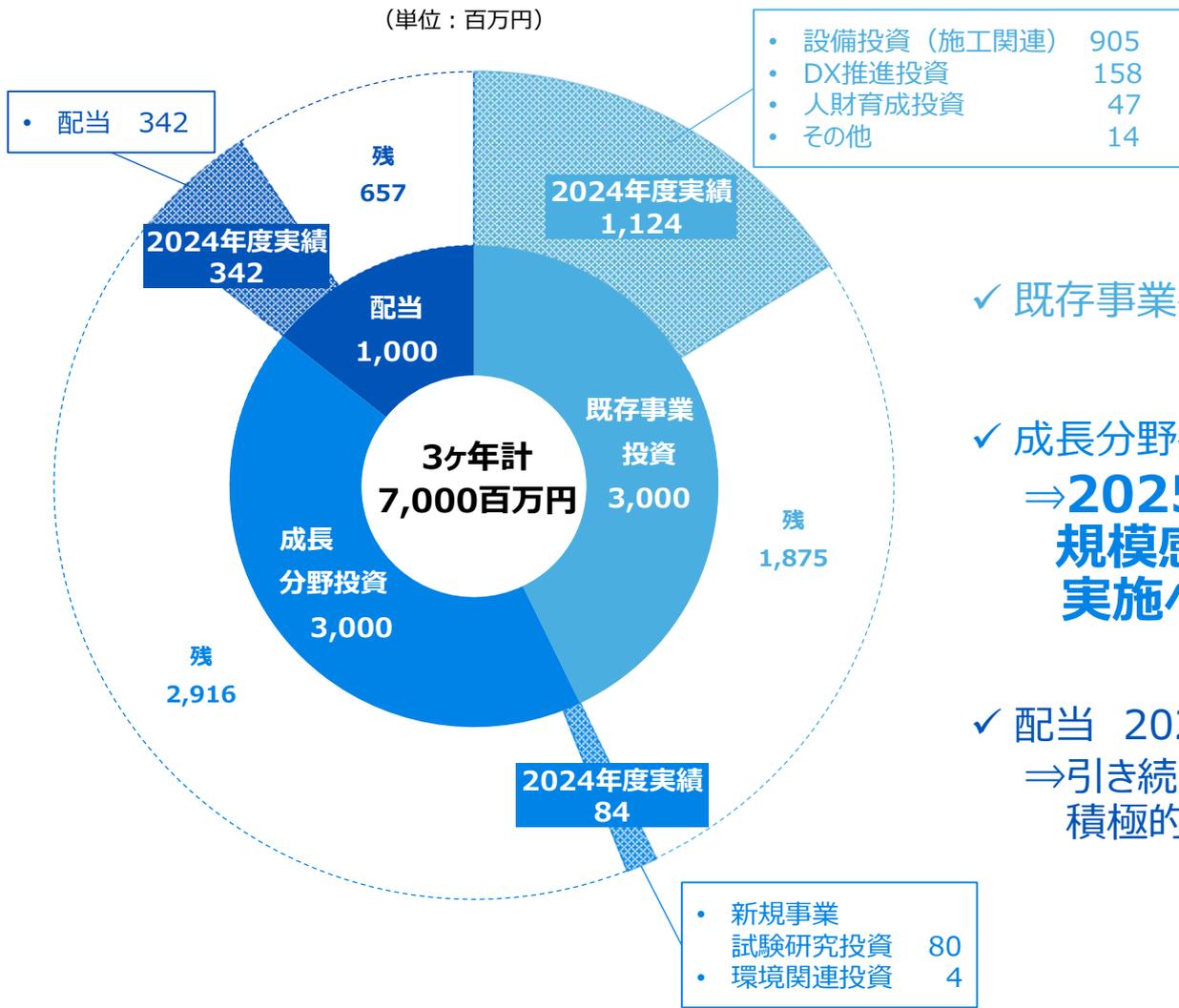
<https://www.tenox.co.jp/ir/management/plan/>

5つの重要戦略

⑤ 資本効率経営の推進

成長に繋げる戦略的な投資を3ヶ年で70億円実施

(単位：百万円)



✓ 既存事業投資 2024年度進捗率37.5%

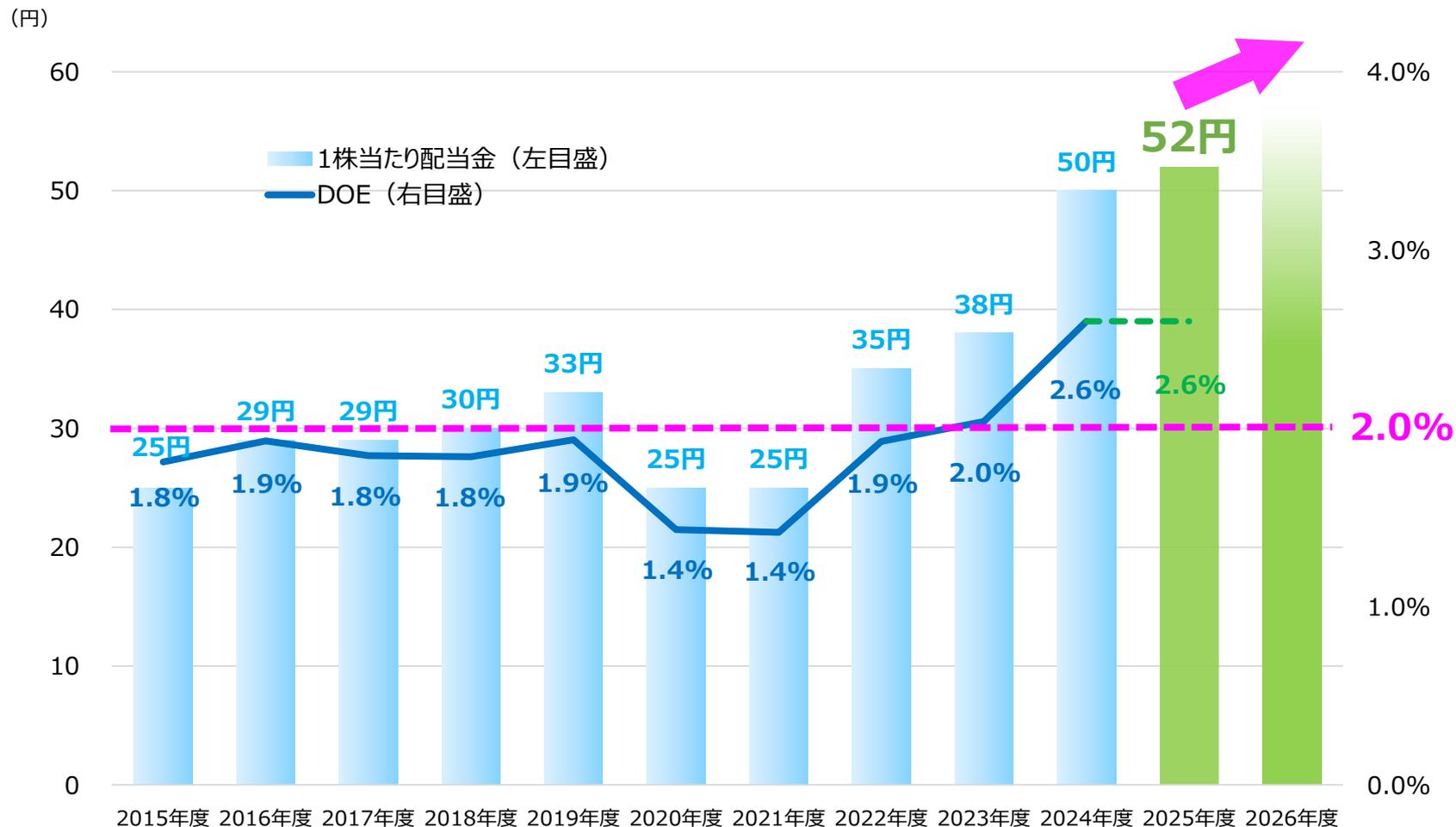
✓ 成長分野投資 2024年度進捗率 2.8%
⇒ **2025年度以降**
規模感ある成長戦略投資を
実施へ

✓ 配当 2024年度進捗率34.2%
⇒引き続き「DOE2.0%以上」の方針のもと
積極的に還元

株主還元方針である『DOE2%以上』を上回る配当を実施

5つの重要戦略

⑤ 資本効率経営の推進

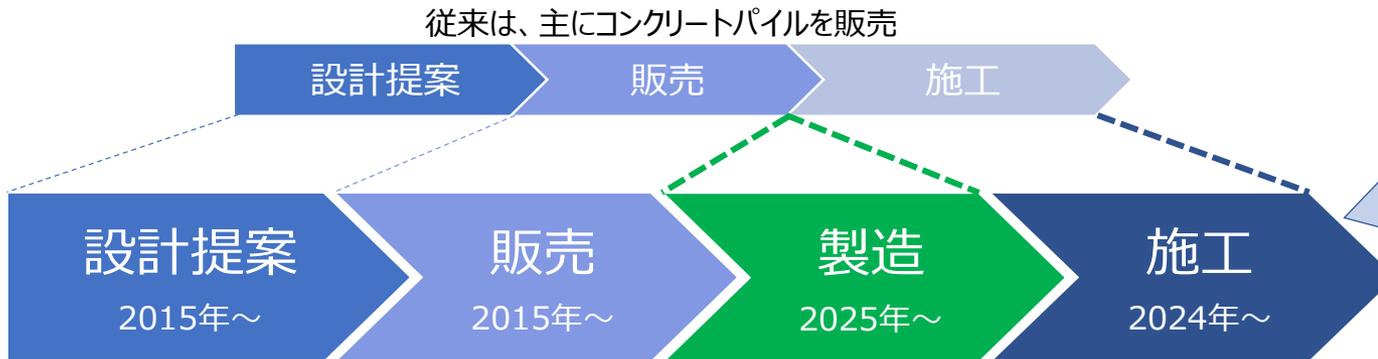


ベトナムコンクリートパイル製造工場の買収基本合意

5つの重要戦略

①事業別戦略

⑤資本効率経営の推進



2024年7月 施工事業を買収



自社施工第1号案件
ベトナム大型自動車工場

※(株)テノックス九州※の現地子会社であるTENOX KYUSYU VIETNAMの施工事業を買収。
※(株)テノックス九州は2017年1月に持分法適用関連会社より除外している。

- ✓ 日本の成功モデル（技術提案から施工までの自社一貫体制）を海外市場で展開し、高品質な杭を提供することにより新しい成長基盤にする

事業規模：売上高 16億円 純利益 0.8億円

- ✓ コンクリートパイルメーカーが持つローカルの顧客ネットワークを取り込む
- ✓ さらに、ローカル顧客ネットワークを活用し、地盤改良など当社が持つ多彩な工法を展開していく



杭工事に使用されるコンクリートパイル写真

なぜ今ベトナム？

1.「基礎工事」って何？

2.「テノックス」ってどんな会社なの？

3.テノックスの「強み」って何？

4.テノックスの「これから」は？

1) 国土の約25%が平野

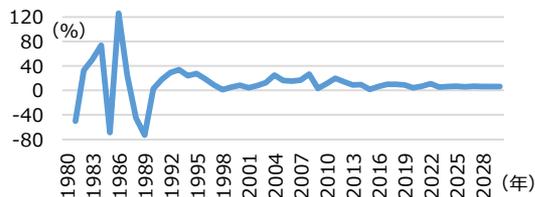


- ①北部の紅河流域
 - ②南部のメコン河流域
- に広がる③デルタ（三角州）地帯

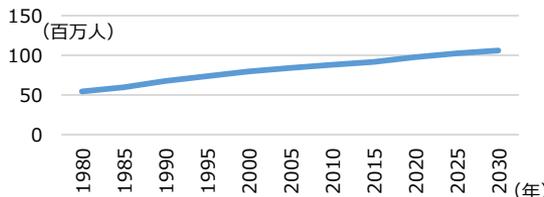
⇒デルタ地帯の約8割が杭工事を必要としている軟弱地盤

2) GDP成長率は年間6～7%上昇、人口も年々増加

ベトナムGDP成長率推移



ベトナム国内人口推移



出典：国際通貨基金(IMF)



出典：国際協力機構 (JICA)

⇒急速な経済成長により主要都市である

ハノイ（紅河デルタ）やホーチミン（メコンデルタ）の

インフラ整備や都市開発の需要が高まる



軟弱地盤対策と環境配慮型の技術でビジネスチャンス

環境配慮型RD燃料を使用



5つの重要戦略

② 開発戦略

③ 環境・デジタル戦略

RD燃料とは？

- ✓ 廃油を原料とした次世代型再生可能ディーゼル（Neste MY Renewable Diesel(RD)）燃料（※1）
- ✓ 既存設備の改修が不要
- ✓ 軽油対比CO2排出量を100%削減可能（※2）

2024年10月 大阪府指定事業（※3）にて使用

- ※1. Hydrotreated Vegetable Oil (HVO) の一種
既に欧米を中心に広く実績がある
- ※2. 温対法、省エネ法報告
- ※3.大阪府カーボンニュートラル技術開発・実証事業
（伊藤忠エネクス(株)他4社と共同）



国内基礎工事業界初！電動小型杭打機「DHJ-15E」試作機完成⇒実際の現場で実証済

2025年5月 「東京都国分寺市の案件」にてゼロカーボン施工実現



左写真) 施工状況、右写真) 電動モーターユニット

業績推移・数値目標

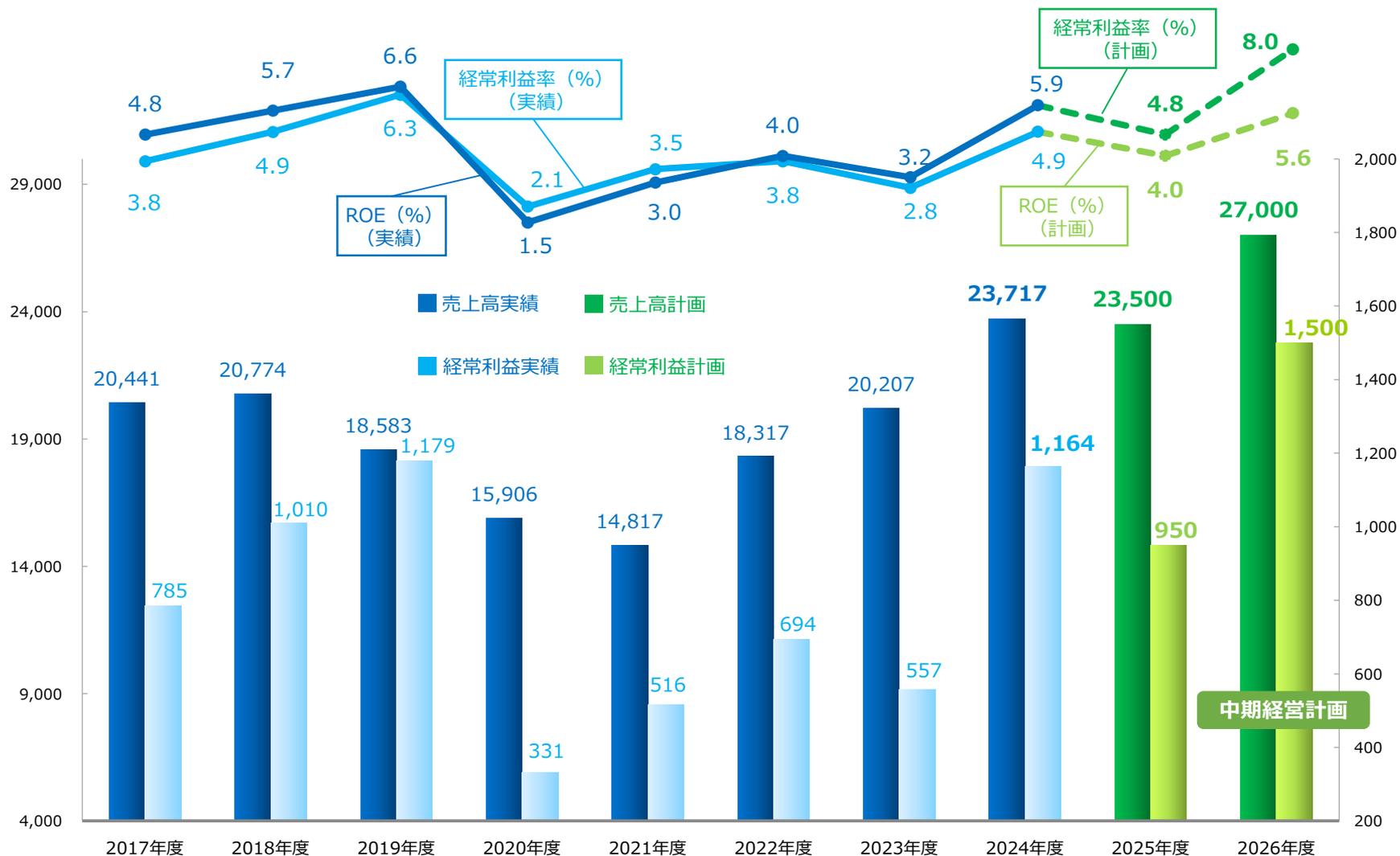
1.「基礎工事」って何？

2.「テノックス」ってどんな会社なの？

3.テノックスの「強み」って何？

4.テノックスの「これから」は？

✓ 2025年度は「北海道新幹線延伸事業」の施工が峠を越し減収減益となるが、テノックスの強みを生かすことで中期経営計画の「5つの重要戦略」を確実に実践し、最終2026年度の売上高、経常利益の目標達成を目指す。



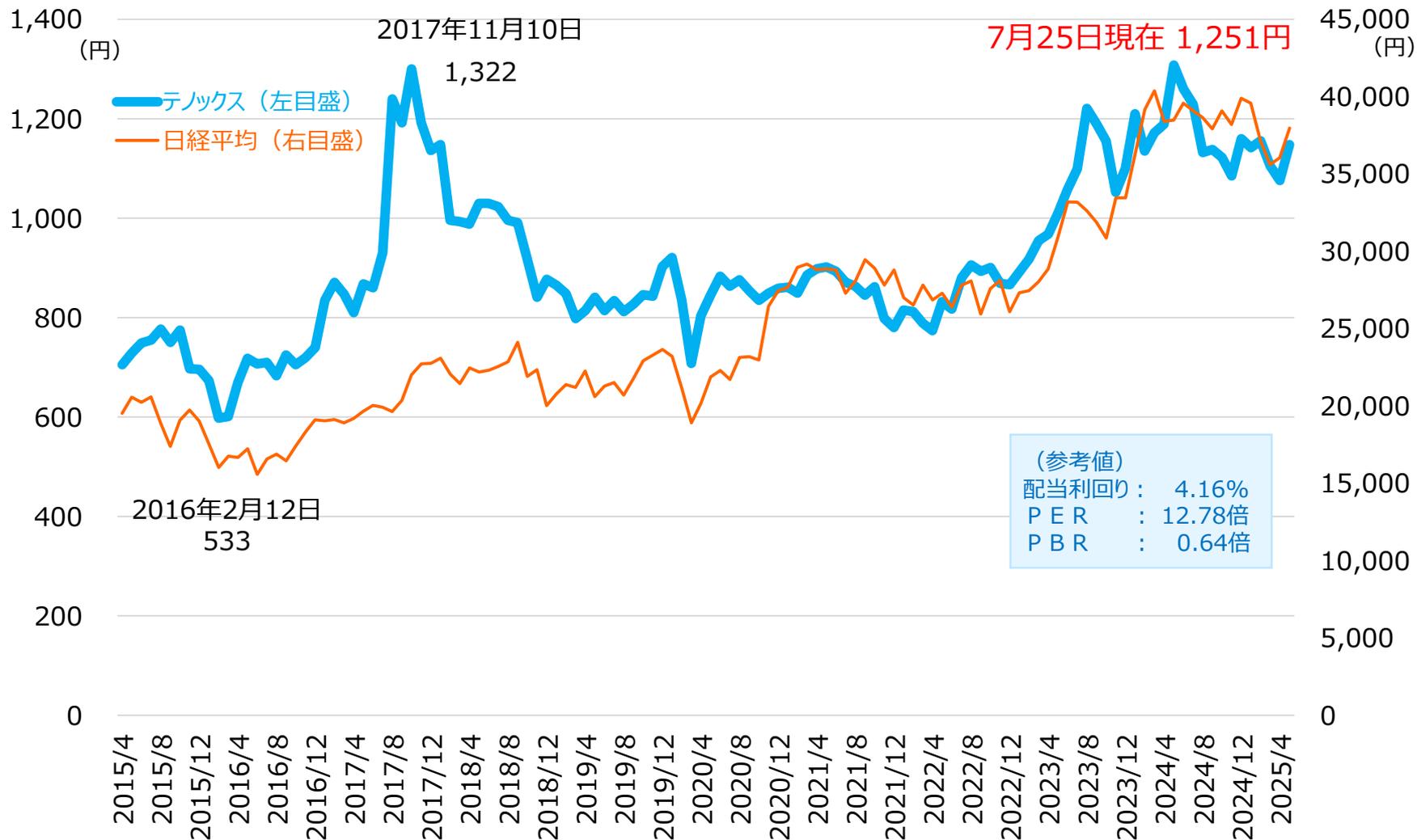
株価推移 (2015年4月から2025年7月)

1.「基礎工事」って何？

2.「テノックス」ってどんな会社なの？

3.テノックスの「強み」って何？

4.テノックスの「これから」は？

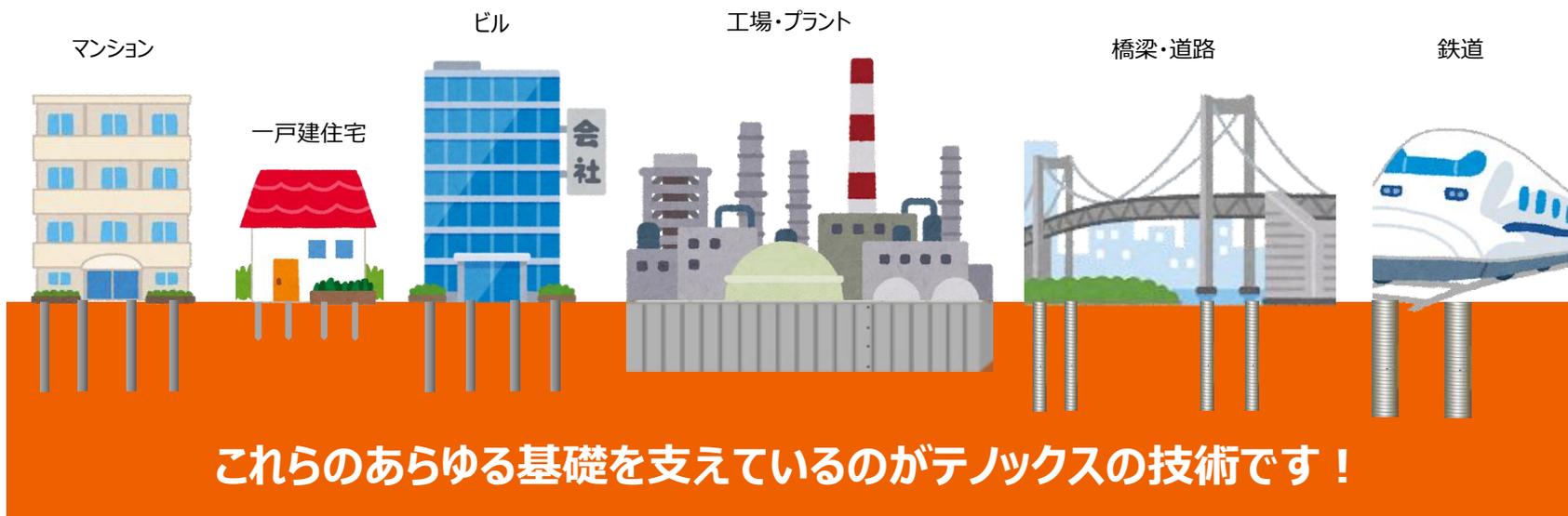


(参考値)
 配当利回り : 4.16%
 P E R : 12.78倍
 P B R : 0.64倍

※グラフは月末の終値



建設業が造る構造物は多種多様ですが基礎は共通、テノックスです。



そして私たちを支えてくださるのが株主・投資家の皆さまです！



**ご清聴いただき
ありがとうございました。**



ご参考資料



テノックスASIA



私たちは、あらゆる建物や構造物を支える基礎工事の専門家集団です。

社名（テナックス）の由来

創業者の安田善次郎が、1970年に安田を慕う10名の青年とともに会社を設立しました。この10名が雄牛の様に力強く邁進しようと、10名の「TEN」と雄牛の「OX」を結びつけ、「TENOX」（テン・オックス＝10頭の雄牛）を社名としました。



初代社長安田善次郎（前列中央）と創業時の顔ぶれ

ロゴマークについて

雄牛のOXをヒントにロゴマークをデザインしました。





本社・営業所 ● 8ヶ所（● 3出張所）、グループ会社 ● 国内4社、海外1社

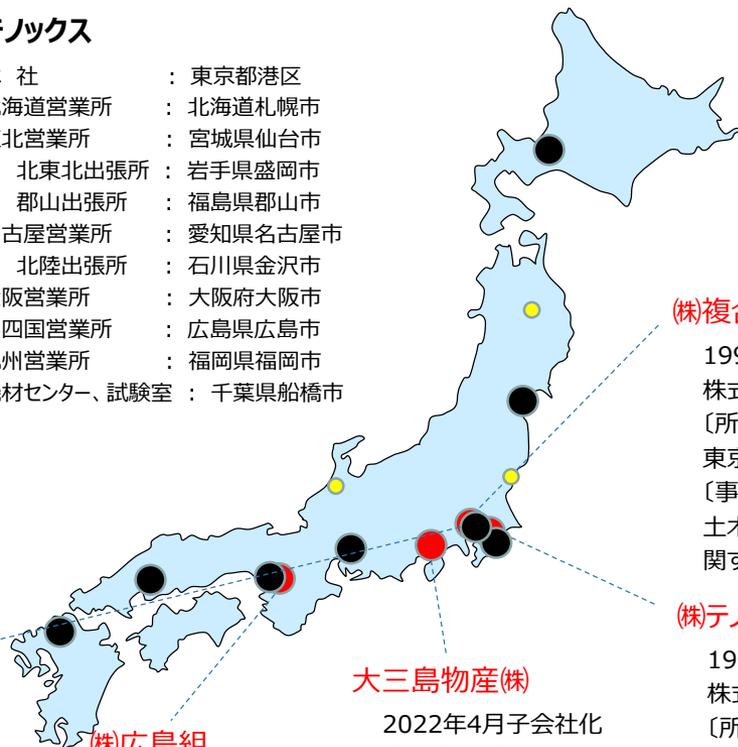
国内

(株)テナックス

- 本社 : 東京都港区
- 北海道営業所 : 北海道札幌市
- 東北営業所 : 宮城県仙台市
- 北東北出張所 : 岩手県盛岡市
- 郡山出張所 : 福島県郡山市
- 名古屋営業所 : 愛知県名古屋市
- 北陸出張所 : 石川県金沢市
- 大阪営業所 : 大阪府大阪市
- 中四国営業所 : 広島県広島市
- 九州営業所 : 福岡県福岡市
- 機材センター、試験室 : 千葉県船橋市



(本社)



(株)広島組

2020年10月子会社化
株式所有割合 100%
〔所在地〕
大阪府大阪市
〔事業内容〕
杭工事、地盤改良工事、土留工事

大三島物産(株)

2022年4月子会社化
株式所有割合 100%
〔所在地〕
静岡県三島市
〔事業内容〕
杭工事、地盤改良工事、山留め工事

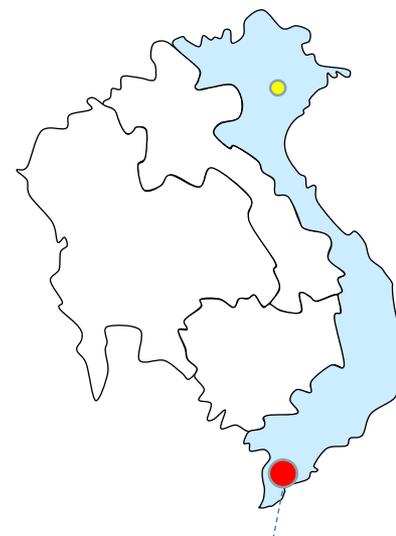
(株)複合技術研究所

1997年4月設立
株式所有割合 55%
〔所在地〕
東京都新宿区
〔事業内容〕
土木建築コンサルティング全般等に関する事業

(株)テナックス技研

1995年9月子会社化
株式所有割合 100%
〔所在地〕
千葉県船橋市
〔事業内容〕
杭・地盤改良事業及び建機賃貸

海外 (ベトナム) アジア進出の拠点



TENOX ASIA COMPANY LIMITED

2015年9月設立
出資比率 100%
〔所在地〕
ベトナム社会主義共和国ホーチミン市
〔事業内容〕
ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等



建設事業



国内では、当社及び(株)テノックス技研、(株)広島組、大三島物産(株)※、海外では、TENOX ASIA COMPANY LIMITEDが、基礎工事に特化した建設事業を行っている。

※大三島物産は非連結子会社

土木建築コンサルティング全般等事業



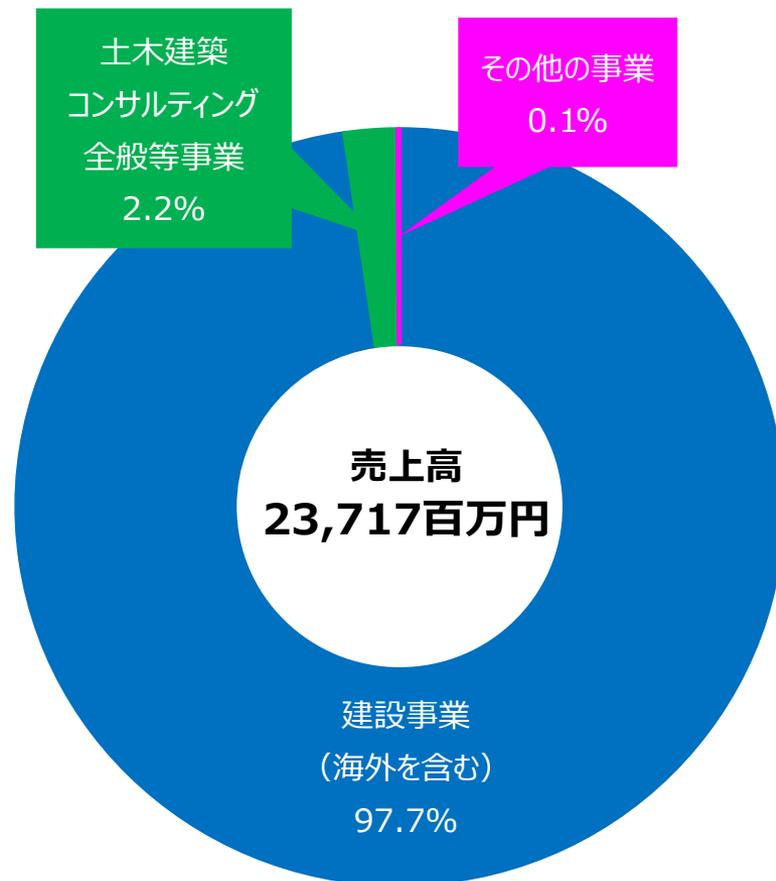
(株)複合技術研究所が、地盤の強化・補強に関する分野のシンクタンクとして、設計・解析・実験業務などを行う。

現在、解析技術を用いた液状化対策の技術開発を進めている。

その他の事業



不動産賃貸事業等を行っている。



2025/3期売上高とセグメント別構成比

テノックス55年の歩み



1970 東京都港区に
（株）テノックスを設立

1980 旭化成建材（株）と共同開発のC MJ工法
業界初の建設大臣認定を取得

1984 当社開発のテノコラム工法
特許を取得

1985 新日本製鐵（株）（現（株）日本製鉄）と
共同開発のT N工法建設大臣認定
を取得

1995 新日本製鐵（株）・（株）クボタと共同開発の
ガンテツパイプ工法技術審査証明を取得

1997 財団法人鉄道総合技術研究所（現・公益財団法人）
東急建設（株）と共同開発の
ラディッシュアンカー工法
技術審査証明を取得

2002 旭化成建材（株）と共同開発のA T Tコラム工法
国土交通大臣認定を取得

2005 新日本製鐵（株）と共同開発のT N X工法
国土交通大臣認定を取得

2010 株式会社日本住宅保証検査機構と共同研究開発の
ピュアパイル工法
建築技術性能証明を取得

2018 ベトナム社会主義共和国にて
テノコラム工法の企業規格（T CCS）を取得

2025.1 日本ヒューム（株）と共同開発の
C P X工法公的認証取得

2025.2 単独開発工法のテノキューブ工法
技術審査証明を取得

草創期
1970～1979

成長拡充期
1980～1990

発展期
1991～2010

飛翔期
2011～現在



NEW

テノキューブ工法（地盤改良）

攪拌状況の可視化が可能となり、高い信頼性を有する浅層地盤改良工法です。物流倉庫や工場、集合住宅など幅広い建築物への販売を強化しております。



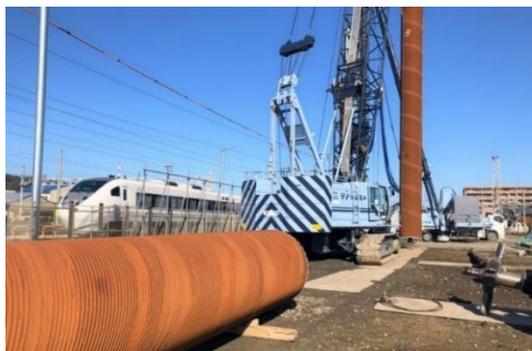
テノラム工法（地盤改良）

1984年に特許を取得。建築物の基礎工法として地盤改良の使用が認知される先駆けとなった工法で、これまで約41,000件の実績をあげております。



ガンテツパイル工法（杭）

日本製鉄株式会社、株式会社クボタと共同研究開発した工法。道路橋、鉄道橋、上下水設備など、土木分野で幅広くご採用いただいております。



TN-X工法（杭）

日本製鉄株式会社と共同研究開発した、大径鋼管杭の先端に大きな球根を築造する建築向けの工法。物流施設やデータセンター、病院などの大型建築物を、少ない杭本数で支えることができます。





IRに関するお問合せ

- IR担当部署 管理本部 企画部 広報IRグループ
- E-mail ir@tenox.co.jp
- URL https://www.tenox.co.jp/contact/contact_ir/
- ホームページ <https://www.tenox.co.jp/>

本資料に掲載しております数値目標や将来見通しは、本書面の発表現在における当社の戦略、目標、また仮定に基づいたものであり、将来における業績や展開に対し、確約や保証を与えるものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われますようお願い申し上げます。

